

令和5年度 市民意見聴取実施報告  
(市民意見聴取の概要)



## 市民意見聴取結果の概要（令和5年度実施分）

家庭ごみ有料化制度の検証のための基礎資料として活用することを目的に、無作為抽出した市民4,000人を対象に意識調査を実施しました。

また、市役所窓口及びホームページ上でアンケートを実施するとともに、自治会長対象のアンケートを実施することにより、広く意見を募集しました。

令和5年度に実施した、これらの市民意見聴取の概要は次のとおりです。

### <調査の概要>

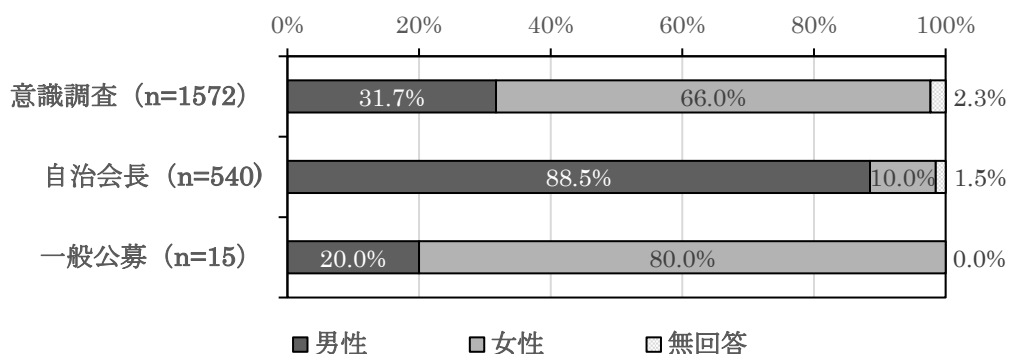
	対象	調査方法	期間	回答件数	
①	市民意識調査	18歳以上の市内居住者 4,000人（無作為抽出）	郵送	令和5年 4月3日～28日	1,572件
②	家庭ごみ有料化制度に関するアンケート （自治会長対象）	自治会長 （685自治区）	郵送	令和5年 4月14日～28日	540件
③	家庭ごみ有料化制度に関するアンケート （一般公募）	全市民	1. オンラインアンケート （市ホームページ上の回答フォームから入力、提出） 2. 紙提出のアンケート （本庁舎、各支所での配布及びホームページからダウンロード）	令和5年 4月3日～28日	15件

### <結果の概要>

#### 1 回答者の属性

##### ①性別

それぞれの調査における回答者の性別の内訳（割合）は次のとおりです。



##### ②年齢

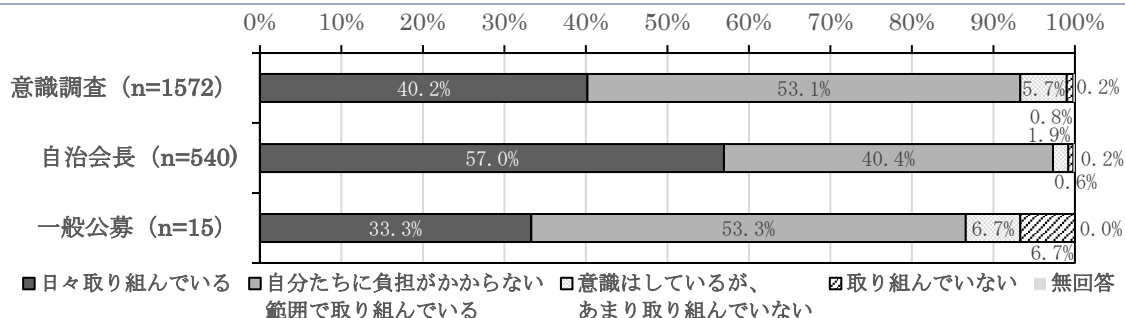
それぞれの調査における回答者の年齢の内訳（割合）は次のとおりです。

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
意識調査 (n=1572)	1.3%	6.0%	10.5%	16.0%	15.1%	21.0%	23.4%	6.4%	0.3%
自治会長 (n=540)	0.0%	0.0%	0.7%	1.5%	3.7%	27.0%	58.5%	7.8%	0.7%
一般公募 (n=15)	0.0%	0.0%	26.7%	6.7%	40.0%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%

## 2 家庭ごみ有料化制度に関すること

### ①ごみ減量・リサイクルの取組状況について

問 あなたやあなたと同居している方は、日頃からごみの減量やリサイクルに取り組んでいますか。(〇は1つ)

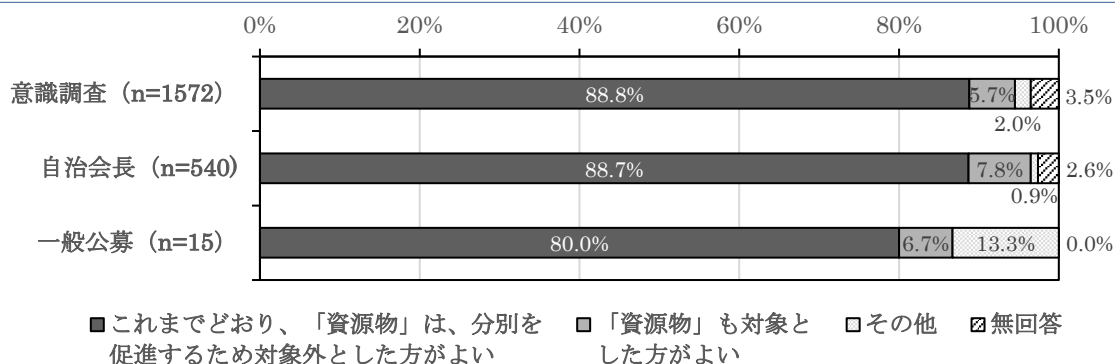


- ・いずれの調査においても、「日々取り組んでいる」、「自分たちに負担がかからない範囲で取り組んでいる」の割合が高くなっています。

### ②家庭ごみ有料化の対象となるごみについて

問 家庭から出るごみのうち、燃やせるごみ、燃やせないごみを有料化の対象とし、資源物については有料化の対象外としています。

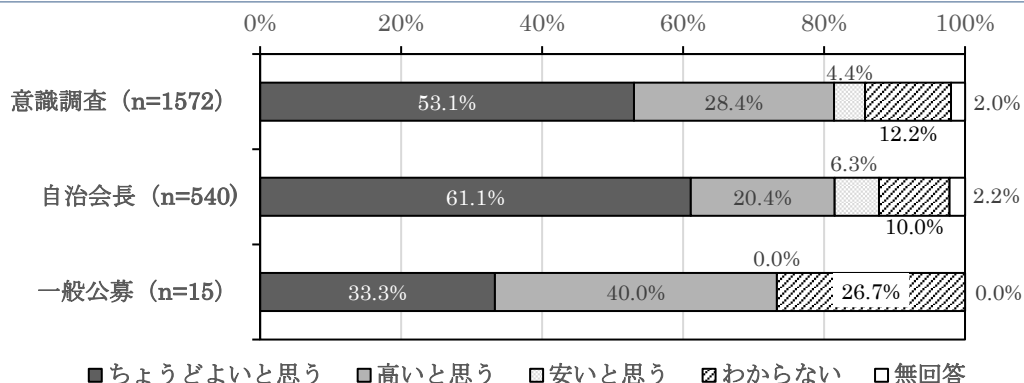
家庭ごみ有料化の対象となるごみについてどう思いますか。(〇は1つ)



- ・いずれの調査においても、8割以上の方が「これまでどおり、資源物は、分別を促進するため対象外とした方がよい」と回答しています。

### ③指定有料ごみ袋の金額について

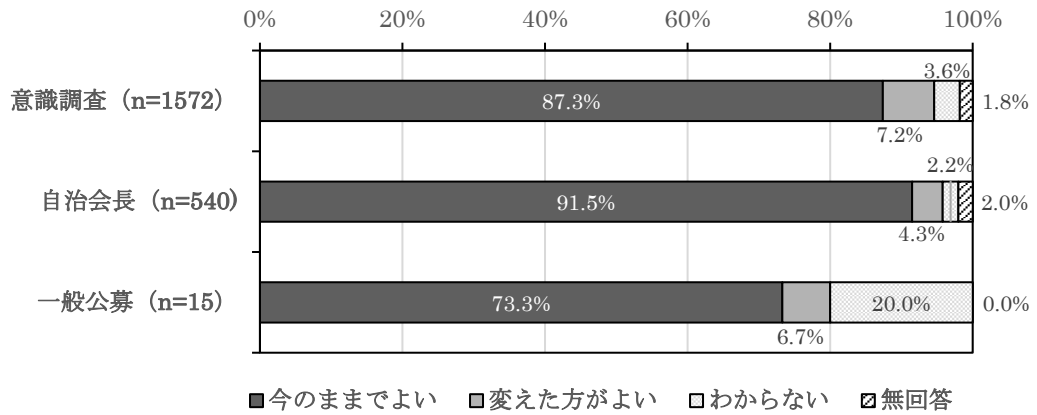
問 あなたは指定有料ごみ袋の値段についてどう思いますか。(〇は1つ)



- ・「ちょうどよいと思う」と回答した人は、市民意識調査と意見募集（自治会長）において5割を超えています。一般公募の調査では「高いと思う」と回答した人の割合が高くなっています。

#### ④指定有料ごみ袋の種類、大きさについて

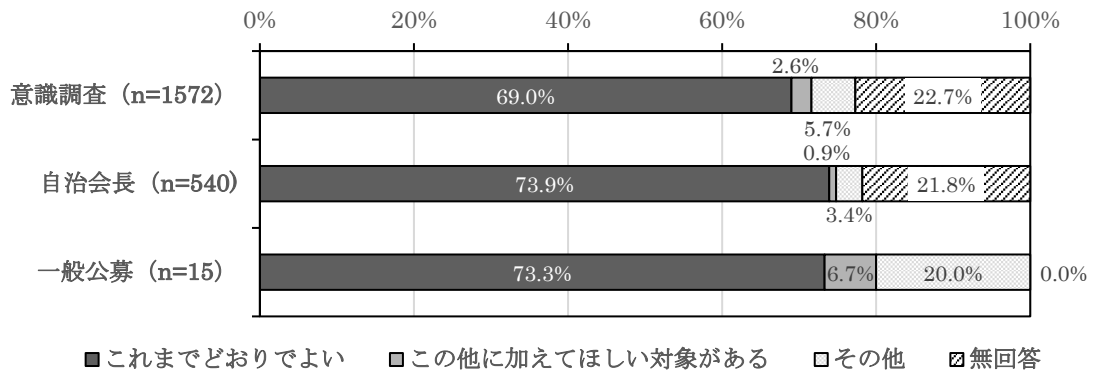
問 指定有料ごみ袋の種類（大きさ）についてどう思いますか。（○は1つ）



・いずれの調査においても、「今のままでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

#### ⑤負担軽減措置について

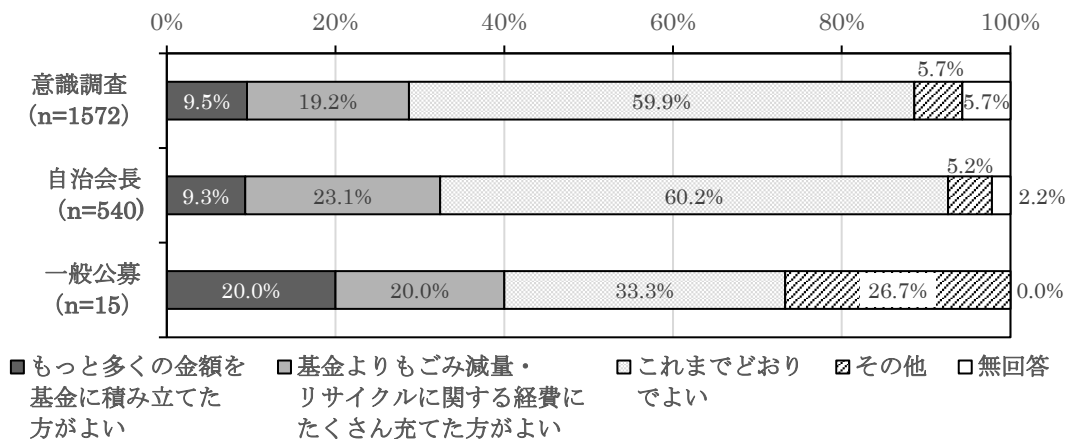
問 負担軽減措置として一定枚数の指定有料ごみ袋を無料で支給しています。負担軽減措置の対象者についてお答えください。（○は1つ）



・いずれの調査においても、「これまでどおりでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

#### ⑥手数料収入の用途について（一般廃棄物処理施設整備基金）

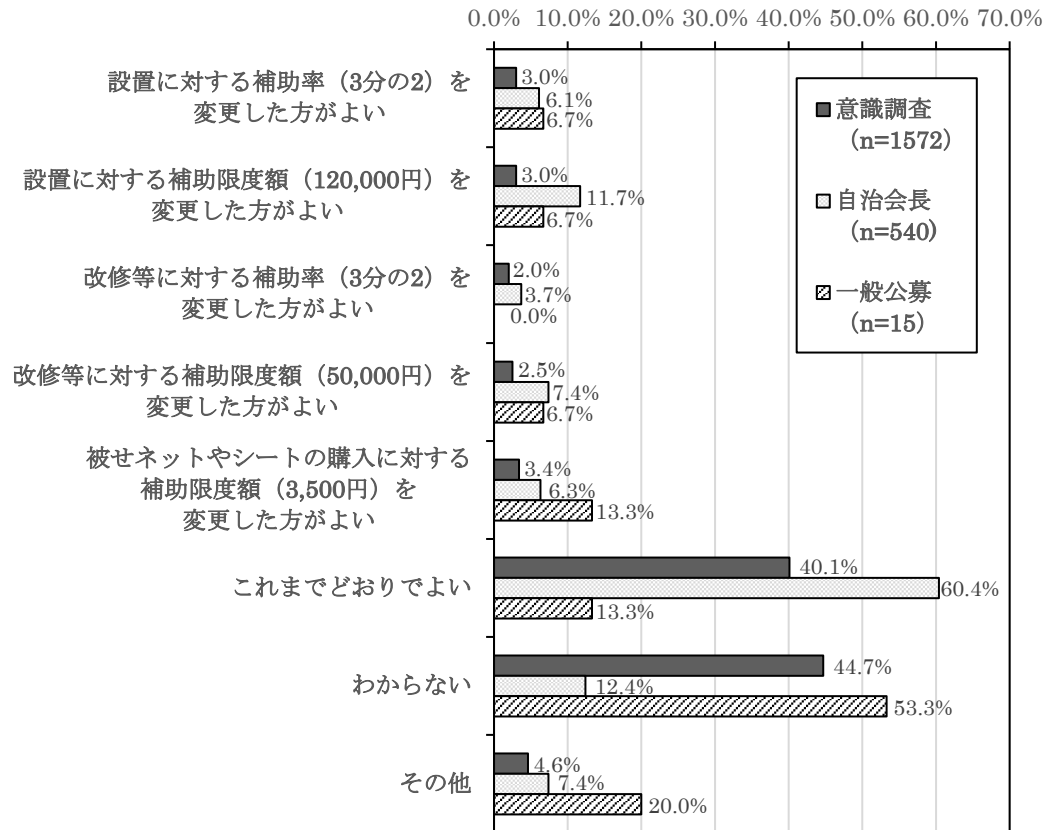
問 一般廃棄物処理施設の整備に要する経費に充てるため、家庭ごみ有料化によって得られた手数料収入から指定ごみ袋の作製費等の必要経費を除いた額の概ね2分の1を基金として積み立てていることについてどう思いますか。（○は1つ）



・いずれの調査においても、「これまでどおりでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

⑦手数料収入の用途について（ごみステーション設置等補助金）

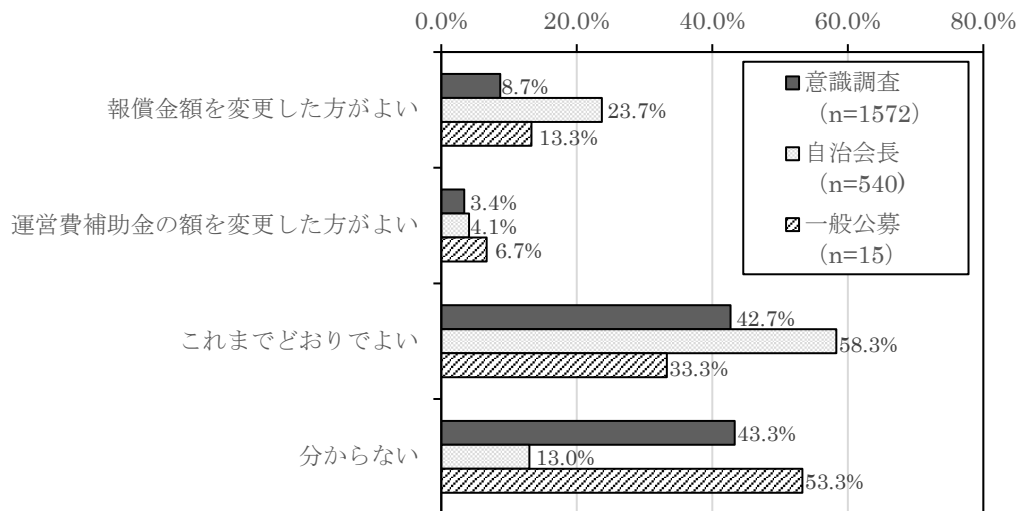
問 ごみステーションの設置等を行う自治会に対して交付している補助金についてどう思いますか。（○はいくつでも）



- ・いずれの調査においても、「これまでどおりでよい」または「わからない」と回答した人の割合が高くなっており、意見募集（自治会長）においては「これまでどおりでよい」と回答した人の割合は6割を超えています。

⑧手数料収入の用途について（クリーン推進員報償金等）

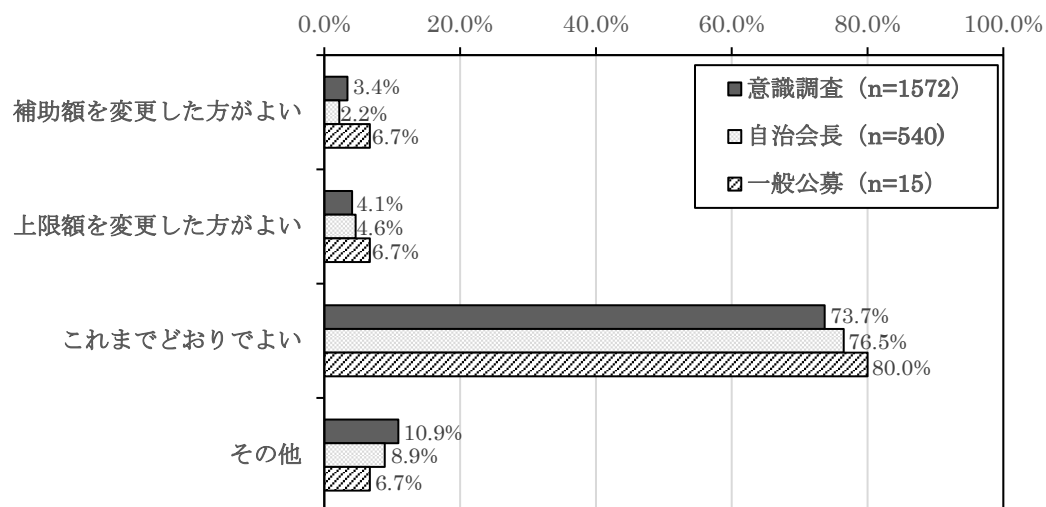
問 クリーン推進員に支給している報償金及びクリーン推進員校区連絡会議の運営に対する補助金についてどう思いますか。（○はいくつでも）



- ・いずれの調査においても、「これまでどおりでよい」または「わからない」と回答した人の割合が高くなっていますが、自治会長アンケートにおいて、約2割の人が「報償金額を変更した方がよい」と回答しています。

⑨手数料収入の用途について（生ごみ処理機器購入等補助金）

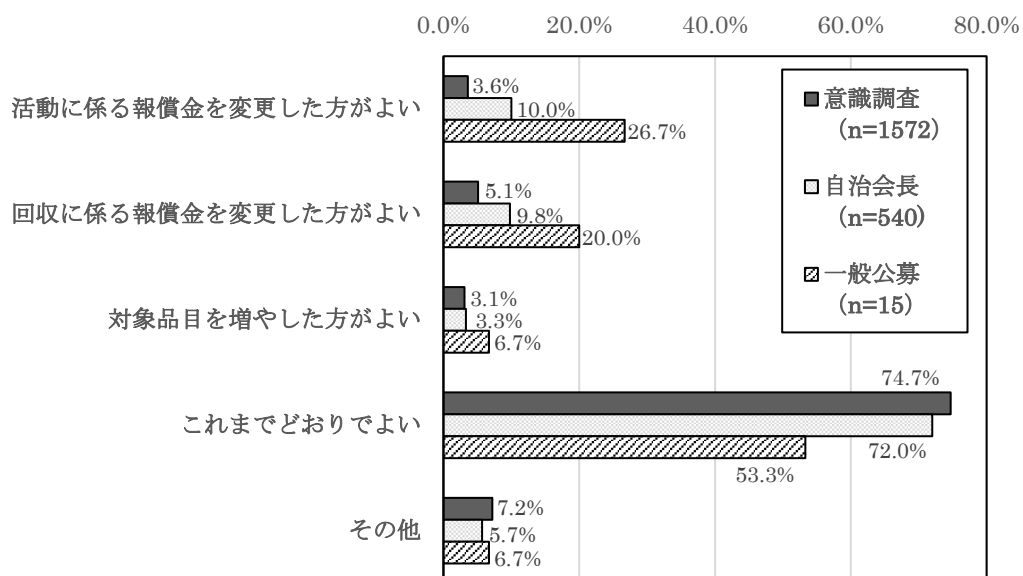
問 生ごみ処理機器の購入及びディスポーザーの設置に対して交付している補助金についてどう思いますか。（○はいくつでも）



・いずれの調査においても、「これまでどおりでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

⑩手数料収入の用途について（有価物集団回収運動報償金）

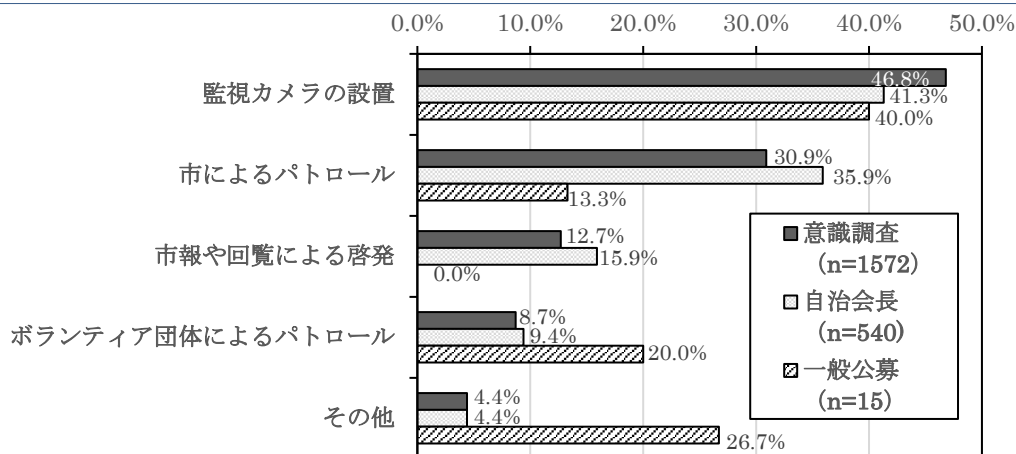
問 有価物集団回収（廃品回収）運動実施団体に対する報償金についてどう思いますか。（○はいくつでも）



・いずれの調査においても、「これまでどおりでよい」と回答した人の割合が高くなっています。

⑪ 不法投棄に対する取組として充実してほしいこと

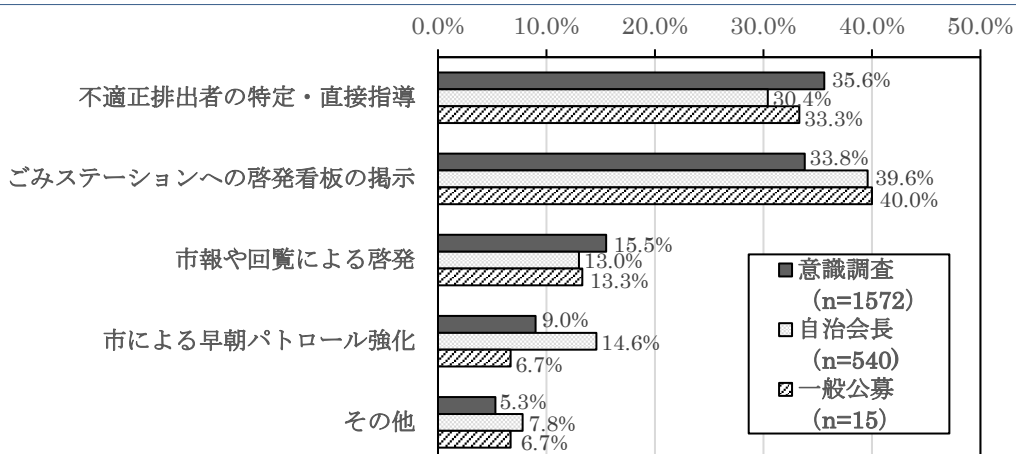
問 不法投棄に対する取組として充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)



- ・一般公募を除く調査において、「監視カメラの設置」、「市によるパトロール」と回答した人の割合が高くなっています。

⑫ 不適正排出に対する取組として充実してほしいこと

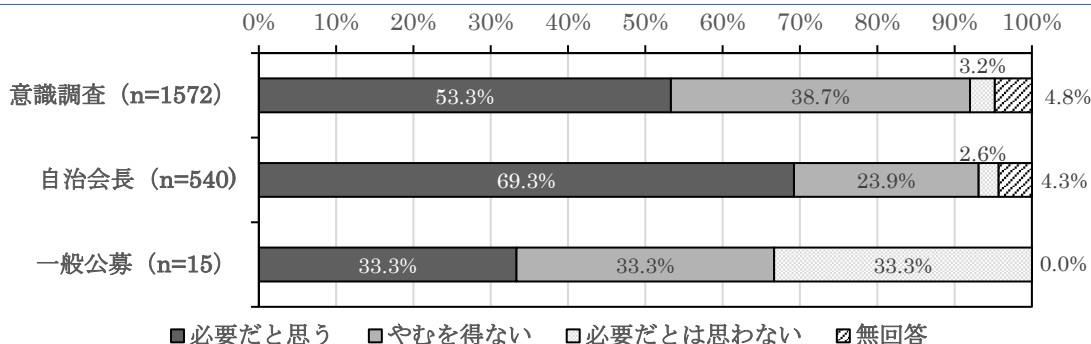
問 不適正排出に対する取組として充実してほしいと思うものはどれですか。(〇は1つ)



- ・「不適正排出者の特定・直接指導」、「ごみステーションへの啓発看板の掲示」と回答した人の割合が高くなっています。

⑬ 家庭ごみ有料化制度の必要性について

問 家庭ごみ有料化制度の必要性についてどう思いますか。(〇は1つ)



- ・一般公募を除く調査において、「必要だと思う」と回答した人は5割を超えています。